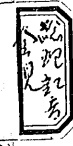


琉球大学学術リポジトリ

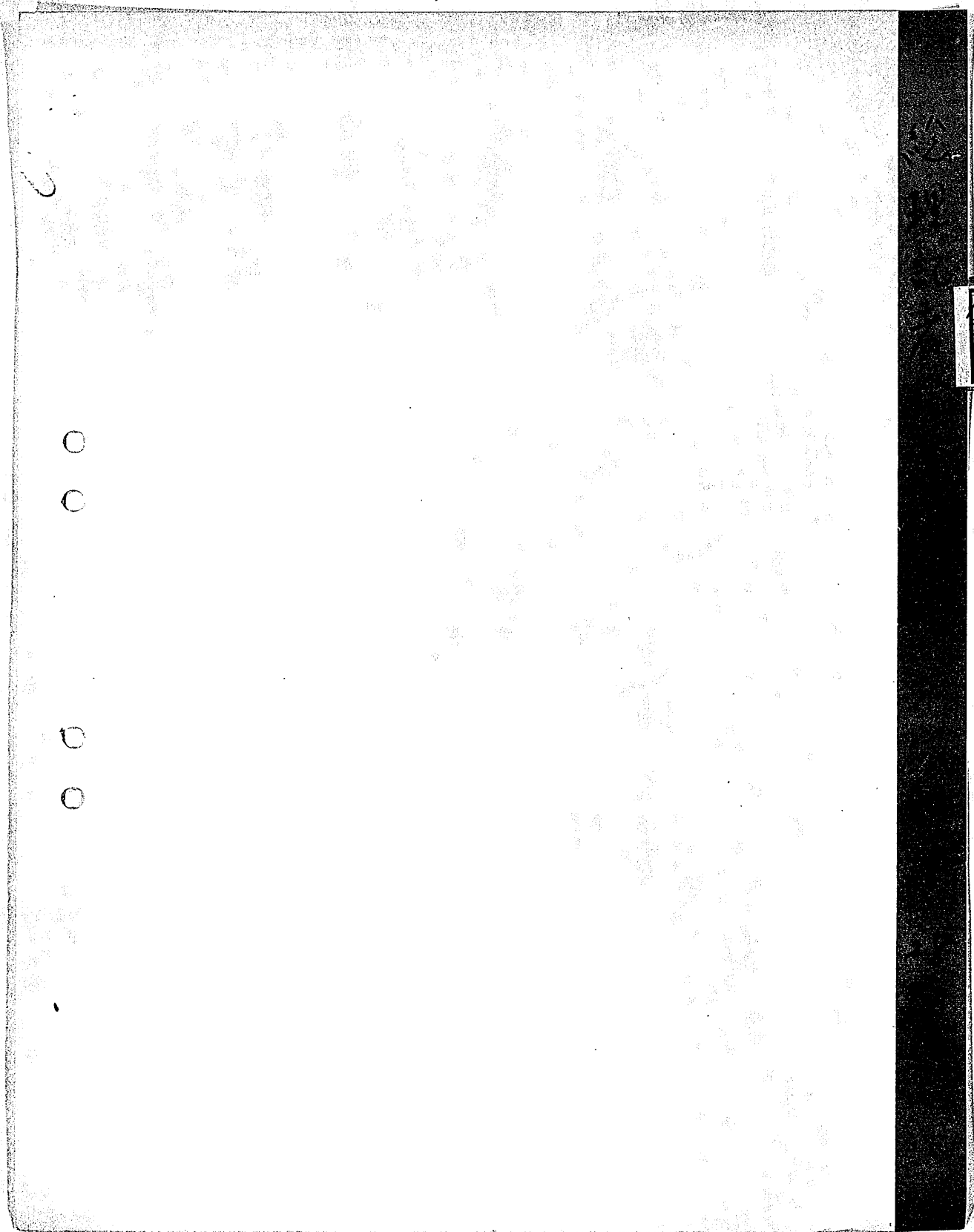
沖縄返還交渉資料第4巻

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-07 キーワード (Ja): 総理訪米, 米国人記者との会見, 総理, 愛知外相, ニューヨーク・タイムズ, 愛知外相・ロジャーズ長官会談, 統合局長・スナイダー会談, 記者会見, 外相, 官房長官, 米国下院歳出委員会対外活動分科委非公開聴聞会, スナイダー国務省日本部長 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43630

総理記者会見



43.
5.
28
会見



(総理記者会見資料)

沖縄選挙の見通し

昭和43.5.24
外務省北米局北米課

1. 選挙の意義

来たる7/1月に沖縄において、(1)琉球政府行政主席選挙、(2)琉球立法院議員選挙、及び(3)西銘現那覇市長の主席選挙立候補に伴い空席となる那覇市長の選挙の3選挙が行なわれることになつている。

特に主席選挙については、去る2月米国大統領行政命令が改正され、沖縄住民の年来の念願であつた琉球政府行政主席の沖縄住民による直接選挙が実現して以来はじめて行なわれる選挙であり、その意義はきわめて大きい。

2. 公認候補の決定及び選挙綱領

(1) 与党たる沖縄自民党は去る5月1/1日臨時党大会において現那覇市長西銘順治氏を公認候補に、また社会大衆党、社会党、人民党の野党3党及び沖縄教職員会、沖縄県労働協議会は、3月末沖縄教職員会会長屋良朝苗氏に対

し統一候補として出馬を要請し、同氏は4月3日これを受諾した。

(2) 沖縄自民党は、5月1/1日の臨時党大会において、主席公選、立法院議員選にのぞむ40項目よりなる重点政策を決定した。

それに対し野党側においては、屋良氏の統一候補決定までに、野党3党は政策の調整を要した模様であり、また屋良氏自身統一候補の受諾に際し「各野党の政策に拘束されず、党利を越えて協力してもらおう。」との条件を出した等の経緯があつたとも伝えられ、このため3党間の政策調整に手間どつている模様であり、今日なお選挙綱領の決定をみていない状態である。しかし、文化人グループを対象とした「屋良さんを励ます会」が5月2/1日に発足し(会長平良元群馬知事)、また教職員会、復帰協及び野党3党など約60の団体が「明るい沖縄をつくる会」という共闘組織を結成する動きもみられ、屋良候補を支持する野党勢力結集の動きもみられる。

3. 公明会の動き

他方沖縄公明会は（有権者約8万といわれる）5月13日主席公選、立法院議員選において特定候補を支持せず、投票は会員の自由意思にまかせる旨発表した。

4. 選挙の見通し

最近のタクシー汚職問題、B52撤去問題（もつとも最近は下火になつている。）等もあり、他方沖縄は伝統的に浮動票の多いこともあつて、選挙の見通しについては五分と五分、あるいは野党側が若干有利等といわれるが、卒直にいつて確かな見通しを立て難い。

いずれにせよ、沖縄ではじめて行なわれる住民の直接選挙による主席選挙であること、また時あたかも昨年の日米首脳会談以来、沖縄をめぐる日米協力が新段階に入り、一体化の促進、沖縄の地位に関する継続協議等が軌道にのつた時期に行なわれること等の事実にもかんがみ、真に沖縄住民の意志を代表する主席が選ばれることが期待される。

（総理記者会見資料）

米国大統領選挙の見通しについて

昭和43. 5.24

外務省北米局北米課

まず民主党については、マッカーシー、ケネディー両上院議員及びハンフリー副大統領が立候補しており、3候補ともリベラルな立場に立ち、基本的な政策に大きな相異はない。ケネディー議員が知識層、青年、婦人層、黒人などの強い支持をえて、現在行なわれている一連の予備選挙においてその進歩ぶりが目立っているに対し、ハンフリー副大統領は党組織、財界、大手労組などの支持をえており、いずれが優位か現段階ではにわかには即断できない。マッカーシー議員は、その主張するヴェトナム和平交渉の進展によりほぼその役割りは終えたとみる向きが多く、結局党大会ではケネディー、ハンフリー両候補の争いになる可能性が強い。しかし、党大会が紛糾した場合には、第3の候補が指名される可能性も考えられないではない。

共和党では、中道派のニクソン元副大統領が党組織を掌握して、予備選挙においても強さを示し、指名を獲得する可能性は最も強いとされているが、他方、世論調査によれば、民主党候補と互角以上に戦える候補とされている進歩派のロックフェラー知事の全国的な人気も捨て難く、ここに共和党内部のディレンマがあるように見受けられる。

種々論議されているように、現在アメリカがノアの転機を迎えていることは事実であり、それだけに米国民のみならず、全世界の人々が、今年の選挙の帰趨を注目するところである。しかし、ヴェトナム問題、黒人暴動など多くの不確定要素を内包する選挙であり、まして各党候補も決定しない現段階での予測は危険であると同時に不可能に近い。ただノアといえることは、最近の世論調査をみても、共和党の伸びが目立っており、前回のごとく民主党の圧倒的勝利とはならず、きわめて伯仲した戦いになるであろうといわれていることである。

電

外務省

答 米國大統領選挙の見通しについて

まず民主党については、マッカーシー、ケネディ両上院議員およびハ
ンフリー副大統領が立候補しており、三候補ともリベラルな立場
に立ち、基本的な政策に大きな相異はない。ケネディ議員が
知識層、青年、婦人層、黒人などの強い支持を得て、現
在行なわれてゐる一連の予備選挙においてその進歩ぶり
が目立つてゐるに對し、ハンフリー副大統領は党組織、財
界、大手労組などの支持を得ており、いずれが優位か

参衆

問

外務省

現段階では俄かに即断できない。マッカーシー議員は

その主張するヴェトナム和平交渉の進展により、ほゞ
その役割りは終えたと見る向きが多く、結局党大会で
はケネディ、ハンフリー両候補の争いになる可能性が強
い。しかし、党大会が紛糾した場合にはオニの候補
が指名される可能性も考えらるべきでない。

共和党では中道派のニクソン元副大統領が党組織
を掌握して予備選挙においても強さを示し指名を

参衆

問

獲得する可能性は最も強いとされているが、他方を論
調査によれば民主党政候補と互角以上に戦える候補
とされている進歩派のロックフェラー知事の全国的な人
気も捨て難く、之に共和党内部のテイレンマがある
ように見受けられる。

種々論議されているように現在アメリカが一つの転
材を迎えていることは事実であり、それだけに米国民のみ
ならず全世界の人々が今年への選挙の帰趨を注目

参衆
問

するところである。しかし、グイエトナム問題、黒人暴動
など多くの不確定要素を内包する選挙であり、さして
各党候補を決定するに現段階での予測は危険であると
同時に不可能に近い。ただ一言することは、最近の在
論調査をみると共和党の伸びが目立っており、前回のこ
とく民主党の圧倒的勝利とはならば極めて伯仲した戦い
になるであろうといわれていることである。

参衆
問

五

評長は或後、軒建局と協定したと見られる。

沖繩選挙の風通し

一、選挙の意義

来る十一月に沖繩において、(一)琉球政府行政主席選挙、(二)琉球立法院

議院議員選挙及び(三)西銘理那覇市長の主席選挙立候補に伴ない空席となる那覇市長の選挙の三選挙が行なわれることになつてゐる。

なつてゐる。

とくに主席選挙については、去る二月米國大統領行政命令が改正され、

沖繩住民の年来の念願であつた琉球政府行政主席の沖繩住民による直接選挙が実現して以来、はじめて行われる選挙であり、その意

義は極めて大だが、沖本政府としてその動向は注目を集めてゐる。

二、公認候補の決定及び選挙綱領

(一)与党たる沖繩自民党は去る五月十一日臨時党大会において現那覇市長西銘順三氏を公認候補に、また社会大衆党、社会党、人民党の野党三党及び沖繩教職員会、沖繩県労協議会は三月末沖繩教職員会々長屋良朝苗氏を統一候補として公馬を要請し、同氏は四月三日これを受諾した。

(二)沖繩自民党は、五月十一日の臨時党大会において、主席公選

五月五日

上院議員選にのぞむ重兵政策を決定し長

と小下対し、野党側には屋良氏の統一候補決定までに、野党

三党は政策の調整を要した模様であり、また屋良氏自身統一候補の後援

に際し「各野党の政策に拘束されず、党利を越えて協力してこそこ

この条件を本した等の経緯があったとも伝えられ、このため三党間の

調整に手向ど、^{調整}なっている模様であり、今日なお選挙細領の決定を

みこは、状況である^{調整}。しかし、文化人グループを対象とした「屋良

さんを励ます会」が五月二十日に発足し、会長平良群島知事（また

元

外務省

教職員会、復興協および野党三党など約六〇の団体から「明らに井籠
さくる会」という共斗組織を形成し、動きも^{さくる}みよする。

す。動きも^{さくる}みよする。野党勢力結束の

三、公明会の動き

他方井籠公明会は、有権者約八万といわれる。五月十三日主席公選

正法院議員選において特定候補を支持せず、投票は会員の自由意思に

まかせる「甲発表」した。

四、選挙の見通し

選挙の見通しについては五分と五分、あるいは野党側が若干有利等と

最近のソソノ汚弊問題、財源問題（もっとも最近は大下になつてゐる）等がある

他方中絶は傳統的に汚弊の多いこともある外

他方中絶は傳統的に汚弊の多いこともある外

いわれるが、~~年直~~ ^確 ~~見通~~ ^を ~~本~~ ^乙 ~~席~~ ^推 ~~を~~ ^進 ~~め~~ ^め ~~る~~ ^め ~~い~~ ^め ~~。~~

であること、また、時々も昨年より日米首脳会談以来、沖縄をめぐり日本側が新段階に入り一体化の促進、沖縄の地位に関する継続協議等が軌道にのりた時期に行われること等、事実にも鑑み、真に沖縄住民の意志を代表する主席が選ばれること、~~本~~ ^後 ~~期~~ ^待 ~~を~~ ^せ ~~ら~~ ^ら ~~れ~~ ^ら ~~る~~ ^ら ~~。~~

外務省